

認証農家第4号： (株)すすき牧場 場長 薄 一郎  
福岡県宗像市河東1  
<http://www.susukifarm.com>

a) 牧場の特徴・こだわりは何か？：

すすき牧場の基本方針は「安全で美味しい牛肉を消費者に届けるため、生産者の責務と使命を全うし、生産に自信と誇りの持てる牧場づくりを目指す」というものです。

① 母牛からのトレーサビリティの徹底、② 安全な飼育管理の実行、③ 明確な流通経路の確保の3点に独自の生産基準を立て、子牛導入は母牛、子牛の飼育管理に納得のいく農場に限定しオーストラリアの農場から導入。飼料の自家生産の促進を図ると共に食品製造副産物を活用した発酵飼料の調製、購入飼料は非遺伝子組み換え原料のものに限定。飼育管理では農場 HACCP の取組み、堆肥の有効利用を目指した販売と畑地還元。そして生産から消費まで納得のいく流通経路としての産直販売。これらの4点がすすき牧場の特徴であり、肥育素牛・肥育牛合わせて4800頭に給与している飼料の自給率は乾物換算で50%を達成しています。

b) こだわりに至る経緯：

肉牛牧場としての沿革は1970年からの乳雄肥育が始まり。1983年には北海道上士幌ででん粉粕やデントコーンのサイレージによる自給飼料主体の乳雄肥育を展開し、1990年には北海道足寄での肉用牛繁殖などを経て肥育素牛と給与飼料の品質に高い信頼性を求め、1997年からオーストラリアからの肥育素牛導入を開始、現在はアンガス系母牛と黒毛和種雄牛の交雑種牛(F2主体)による肥育を手掛けています。2007年には中央畜産会の生産情報公開 JAS 牛肉の認定を受けています。

c) 牛の品種と飼養頭数：

黒毛和種、アンガス交雑種 F1, F2 牛、  
肥育牛 4,800 頭  
年間肥育出荷頭数 1600 頭

d) 飼料構成：

乾草；バーレーストロー、稲わら、稲サイレージ、野草、デントコーンサイレージ  
サイレージ；生おから、みかんジュース粕、ビール粕、焼酎粕、バガス  
配合飼料；Non GM 指定配合  
モルト；モルトペレット  
大豆；Non GM  
大豆ホエー；Non GM

e) 農地面積：20ha + 契約農家水田 70ha

f) 労働力：従業員 22名

g) 生産された肉はどこで手に入るか？：

関東地方；パルシステム  
春日部市；ロビンソン百貨店  
中部地方；杉本食肉産業  
関西地方；丸正(AJSグループ)

写真1.



写真2. アンガス種交雑牛の肥育場



写真3. 稲サイレージ



写真4. 生おから副産物サイレージ配合飼料

